



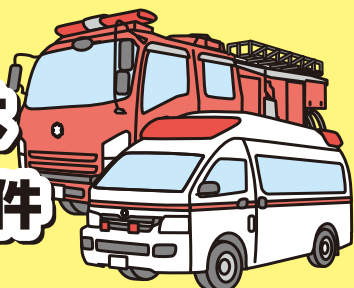
毎年11月9日は「119番の日」!!

詳しくは
こちらから



数字で見る119番通報の現状(令和7年中)

通報件数は
約**108万件**



**29秒に
1件の通報!**

不要不急な
通報約**2割**

エアコンが
壊れて暑い、
どうにかして
欲しい



こんな時はどうする?

近年、119番通報件数は増加傾向にあります。消防隊、救急隊がいち早く到着するために、通報する時は、以下のポイントを意識してください。

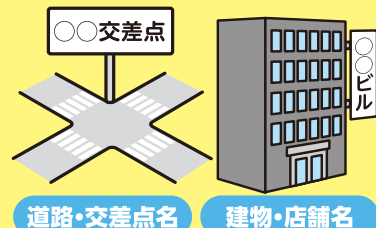
場所が分からないときは目標物を探す

通信指令員の指示を聞いて落ち着いて目標物を伝えてください。

119番通報がつながりにくいときは!?

東京消防庁では119番通報が急増した場合、職員を増強して対応しています。119番通報は着信順につながっています。電話を一度切ってしまうと、つながる順番が最後になる可能性があります。東京消防庁から電話を切断することはありませんので、つながるまで電話を切らないでください。

目標物(例)



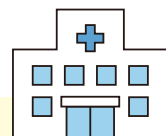
東京消防庁が、令和7年中に受けた119番通報の約2割が「緊急性のないもの」や「消防に関係のないもの」、「医療機関の案内」などでした。不要不急な通報は、ほかの緊急通報の妨げとなりますので、最後までお話を聞かずに切断する場合があります。また、医療機関案内や問い合わせなどは、119番通報ではなく、管轄の消防署や専用のダイヤルに連絡してください。

専用のダイヤル・消防テレホンサービス
[災害情報案内、消防相談]

特別区 **03-3212-2119**
多摩地区 **042-521-2119**

東京消防庁救急相談センター
[救急相談、医療機関案内]

#7119 又は **03-3212-2323**



音声以外の 119番通報

緊急ネット通報

内容 音声(肉声)による119番通報が困難な方が、携帯電話などのウェブ機能を利用して、消防車や救急車を要請することができるものです。ご利用には事前登録(無料)が必要です。
対象 東京消防庁管内に在住、在勤、在学の聴覚または言語・音声等に機能障害がある方です。
登録方法 二次元コードを読み取り後、表示されたメールアドレスに空メールを送信し、登録手続きを行ってください。

登録はこちら



寒くなると65歳以上の「こころ」事故が急増

毎月約8,000人の方が、ころんで(転倒して)救急搬送されています。気温が低下する10月以降は、発生件数が増加し、12月には1万人近くの方が救急搬送されています。こころ事故は、屋内で多く発生する傾向があるので、カーペットなどの小さな段差をなくしたり、普段から意識して足やつま先を上げて歩くようにしたりして、事故を防ぎましょう!



発生の傾向

- 全体のうち7割以上が65歳以上
- 場所は「屋内(住居場所)」が多い
- 原因は、普段気に留めない家の中の小さな段差やカーペットなど

「こころ」事故を防ぐ心得

- 段差のある所には手すりや滑り止めを設置する
- 電源コードに引っかからないように配置を工夫する
- 意識して足やつま先をあげて歩く
- ベッドや椅子から立ち上がる時は、慎重に立ち上がる

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

- 突然の激しい頭痛
- ろれつがまわりにくい
- けいれんがとまらない など



ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

病院へ行くか?救急車を呼ぶか?迷ったら...

インターネットで確認できる「東京版救急受診ガイド」、電話で相談できる「#7119」を是非利用してください。症状の緊急度判定から受診可能な病院の案内が可能です。

東京版救急受診ガイドの詳細は4面をご覧ください!▶

日常生活での高齢者の
事故を防ぐために

